

SCM240

ERP での生産計画

コース概要

コースバージョン: 15

コース期間: 5 日間

著作権および商標

© 2018 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わることがあります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により隨時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなりスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細な情報や通知に関しては、<http://global12.sap.com/corporate-en/legal/copyright/index.epx> をご覧ください。

凡例

このハンドブックでは、標準としてアメリカ英語を使用します。

このハンドブックで使用する凡例を次に示します。

この情報は、講師のプレゼンテーションに表示されます。



デモ



手順



注意点



ヒント



関連情報または追加情報



ディスカッション



ユーザインターフェースコントロール

Example text

ウィンドウタイトル

Example text

内容

vii コースの概要

1 1章: SAP ERP の生産計画概要

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | レッスン: サプライチェーン計画プロセスの概要 |
| 1 | レッスン: コア生産計画プロセスの概要 |

3 2章: 需要管理

- | | |
|---|---------------------------|
| 3 | レッスン: 需要管理の概要 |
| 3 | レッスン: 消費ロジックを使用しない見込生産の計画 |
| 3 | レッスン: 消費ロジックを使用する見込生産の計画 |
| 3 | レッスン: 消費ロジックを使用しない受注生産の計画 |
| 3 | レッスン: 消費ロジックを使用する受注生産の計画 |
| 4 | レッスン: 受注生産における組立指図機能の使用 |
| 4 | レッスン: 需要管理の拡張の適用 |
| 4 | レッスン: 利用可能在庫確認の分析 |

5 3章: 資材所要量計画の実行

- | | |
|---|--------------------|
| 5 | レッスン: 資材所要量計画の概要 |
| 5 | レッスン: MRP の前提条件の設定 |
| 5 | レッスン: MRP 実行 |
| 5 | レッスン: MRP 実行の設定 |
| 5 | レッスン: MRP の対話式計画 |
| 5 | レッスン: 確定メカニズムの適用 |

7 4章: 商品補充計画のテクニカルプロセス

- | | |
|---|------------------------|
| 7 | レッスン: 正味所要量計算 |
| 7 | レッスン: 正味所要量計算でのバッファの適用 |
| 7 | レッスン: ロットサイズの計算 |
| 7 | レッスン: 調達タイプの選択 |
| 7 | レッスン: 基準日日程計画の設定 |
| 7 | レッスン: リードタイム日程計画の設定 |
| 8 | レッスン: BOM および作業手順の選択 |

9 5章: MRP の結果処理および評価

- | | |
|---|--------------------------|
| 9 | レッスン: MRP 一覧と在庫/所要量一覧の比較 |
| 9 | レッスン: 計画テーブルの適用 |
| 9 | レッスン: 例外メッセージの確認 |
| 9 | レッスン: 追加の評価支援の適用 |

- 11 レッスン: 基準生産計画 (MPS) の適用
- 11 レッスン: 長期計画の設定
- 11 レッスン: 長期計画の実行
- 11 レッスン: 複数サイト計画の分析
- 11 レッスン: MRP エリアの設定
- 11 レッスン: MRP エリアの適用

コースの概要

対象グループ

このコースの対象者は、以下のとおりです。

- アプリケーションコンサルタント
- ビジネスプロセス責任者/チームリーダ/パワーユーザ
- ユーザ

レッスン 1: サプライチェーン計画プロセスの概要

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- サプライチェーン計画プロセスの分析

レッスン 2: コア生産計画プロセスの概要

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- SAP ERP の生産計画プロセス実行

レッスン 1: 需要管理の概要

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- ・ 計画方針を調べる

レッスン 2: 消費ロジックを使用しない見込生産の計画

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- ・ 見込生産 (方針 10) を適用する
- ・ ロットサイズによる生産 (方針 30) を適用する

レッスン 3: 消費ロジックを使用する見込生産の計画

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- ・ 最終組立ありの計画 (方針 40) の適用
- ・ 半製品組立計画 (方針 70) の適用

レッスン 4: 消費ロジックを使用しない受注生産の計画

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- ・ 純粋な受注生産 (方針 20) の適用

レッスン 5: 消費ロジックを使用する受注生産の計画

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- ・ 最終組立無の計画 (方針 50) の適用

レッスン 6: 受注生産における組立指図機能の使用

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 製造指図を使用して組立指図機能を適用する (方針 82)

レッスン 7: 需要管理の拡張の適用

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 計画独立所要量の削減を適用する
- MRP と需要管理のカスタマイジング要素を体系的に適用する

レッスン 8: 利用可能在庫確認の分析

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- さまざまな利用可能在庫確認を評価する

レッスン 1: 資材所要量計画の概要

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- MRP の原則の概要

レッスン 2: MRP の前提条件の設定

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- MRP の前提条件の適用

レッスン 3: MRP 実行

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 適切な MRP 実行手順の選択

レッスン 4: MRP 実行の設定

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- MRP 実行の制御パラメータの設定

レッスン 5: MRP の対話式計画

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 適切な対話式計画方法の適用

レッスン 6: 確定メカニズムの適用

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 確定メカニズムの適用による計画結果の保持

レッスン 1: 正味所要量計算

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 正味所要量計算を説明する

レッスン 2: 正味所要量計算でのバッファの適用

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 正味所要量計算でのバッファの適用

レッスン 3: ロットサイズの計算

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- ロットサイズ計算処理の適用

レッスン 4: 調達タイプの選択

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 適切な調達タイプを選択します
- 資材所要量計画での供給量割当の適用

レッスン 5: 基準日日程計画の設定

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 基準日日程計画を設定する

レッスン 6: リードタイム日程計画の設定

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- リードタイム日程計画を設定する

レッスン 7: BOM および作業手順の選択

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 自動 BOM 選択を設定する
- 自動作業手順選択の設定

レッスン 1: MRP 一覧と在庫/所要量一覧の比較

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- MRP 一覧と在庫/所要量一覧の使用の比較

レッスン 2: 計画テーブルの適用

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 計画テーブルの適用

レッスン 3: 例外メッセージの確認

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 例外メッセージの設定と解釈

レッスン 4: 追加の評価支援の適用

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 追加の評価支援の適用

レッスン 1: 基準生産計画 (MPS) の適用

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 基準生産計画の使用

レッスン 2: 長期計画の設定

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 長期計画シナリオの設定

レッスン 3: 長期計画の実行

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 長期計画実行の実行

レッスン 4: 複数サイト計画の分析

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 複数サイト計画の実行

レッスン 5: MRP エリアの設定

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- MRP エリアを使用した計画のためのシステムの準備

レッスン 6: MRP エリアの適用

レッスンの目的

このレッスンの目的は、以下のとおりです。

- 保管場所 MRP エリアの適用